

史料紹介

肥前国糸岐新宮家資料について

串間 聖 剛

一 はじめに

糸岐新宮家資料は、肥前国藤津郡糸岐村で庄屋役・戸長などを務めた新宮家に伝来する四千点以上の資料群である。江戸時代後期の安永年間（一七七二〜一七八一）の古文書から、昭和前期の書簡類までの約百七十年に渡る資料から構成されており、当時における在村地主層の土地経営・経済活動・家政までの様子を伺い知ることができる。

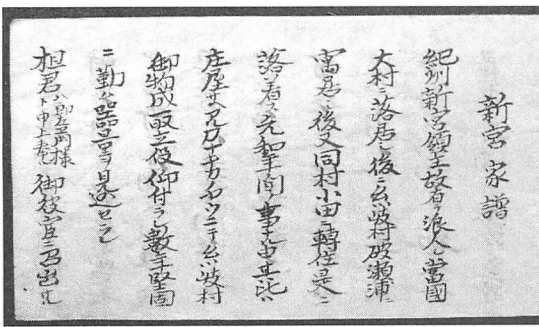
本資料は、永い間当地で伝来されてきたが、平成十八年度から十九年度にかけて、佐賀県立図書館により全体的な概要調査が行われ、藩政期の冊子類・書籍・絵図などについては内容目録まで完成している<sup>1)</sup>。筆者は平成十九年十月よりこれらの調査に参加しており、佐賀県立図書館の調査終了後は、主に内容調査が行われなかった明治以降の書簡類について、引き続き整理作業を行っている。

本稿では、佐賀県立図書館により実施された調査の概要、及び現在目録作成中である書簡類（F箱）について、中間報告を行うこととしていた。

二 新宮家について

まず、新宮家の由緒について簡単に整理しておく。新宮家は、文政二年（一八一九）に記された当家所蔵の『記憶簿』によると、もとは紀州熊野の「新宮領主」であったとされている。その後、新宮領主が諸国を流浪して肥前国大村領に居住することとなり、後に藤津郡糸岐村に移住したという。

江戸時代初期の元和年間（一六一五〜一六二三）には、既に糸岐村の物成取立役を務めており、佐賀藩親類同格の諫早家老<sup>2)</sup>であった諫早庄兵衛家被官となっている。その後、十七世紀後半まで、に庄屋となり、幕末に至るまで諫早家の家臣であった。



写真① 『記憶簿』冒頭部分

江戸時代後期の六代当主新宮忠次の頃から土地経営や酒造業を営むなど経済活動を活発にし、明治以降は十代当主新宮清蔵が貴族院多額納税者議員互選人となっている。十一代当主新宮清朗は多良村長を務めるだけでなく、糸岐信用組合・諫早電燈・鹿島銀行・祐徳軌道などの創設に関与し、地方産業の発展に貢献している。また、佐賀県会議員を二期務めている<sup>3)</sup>。

表① 糸岐新宮家資料箱別調査状況 (2006年6月現在)

箱番号	箱種類	場所	主な資料
A	木箱	和室	長崎騒動記、俳諧
B	木箱	倉庫	仕附収納帳、勘定帳、売場帳他
C	木箱	倉庫	本締帳
D	木箱	倉庫	焼残反故、太平記
E	木箱	倉庫	御家来座席帳、新宮家法事関係資料
F	木箱	倉庫	近代書簡類 (未整理)
G	木箱	倉庫	土地関係資料
H	木箱	倉庫	土地・加地子・金銭関係資料
I	木箱	和室	当座帳、御相統方帳
J	木箱	和室	仕付収入帳
K	木箱	和室	安政己未記録帳
L	木箱	和室	有馬原城絵図、膝栗毛付録、西泊番屋絵図
M	プラケース	和室	新宮清朗行政関係資料、新宮忠彦関係資料
N	段ボール	和室	財産目録、請求書
	木箱	和室	小説、美術関係資料、朝鮮語ノート
	木箱	和室	教科書類
	プラケース	和室	金銭出納、通帳、各種手帳類、弔辞
	プラケース	和室	
	風呂敷	応接間	多良・大浦の字図
	風呂敷	応接間	土地本帳
	金庫	応接間	記憶簿、病状大概、養子ノ義二付願
	戸棚	応接間	新宮節子所蔵書籍類、新宮清朗作品
	襖	各所	下張り文書 10点以上

### 三 概要調査について

糸岐新宮家資料の概要調査については、平成十八年四月から六月にかけて、佐賀県立図書館により実施された。この概要調査では、①保存箱の写真撮影・記録、②資料の保存箱からの取り上げ・史料番号付与、③概要目録作成、などの作業を行っており、箱別調査状況は次の通りであった。

資料は新宮家母屋の倉庫・和室・応接間において、木箱・プラケース・段ボールなどで保存されており、一部が水損や虫損を受けていたが、ほとんどが良好な状態であった。形状や内容により、保存箱や保存場所がある程度分けられており、伝来の過程で資料の選別と整理が行われていたことが伺われる。また、室内の各所には、下張りに古文書が利用されている襖が十点以上見られた。

佐賀県立図書館による調査は、その後、内容目録の作成に移り、資料数が膨大であったF箱を除いて調査を終了している。

### 四 F箱(書簡類)の整理状況

それでは、筆者が現在目録を作成しているF箱の整理状況について述べることにする。

F箱には、主に明治後期から昭和前期にかけての書簡類が大量に保存されている。他の保存箱が冊子類を中心に整然と保存されていたのに対し、F箱は書簡類を一箱にかき集めたような状況であった。また、箱の底部付近は虫損・水損などが見られるなど資料の状態はあまり良くなかった。そのため、慎重に原秩序状況及び、封筒・紐などによる一括状況を記録しながら資料の取り上げ作業を行った。その結果、F箱は六十の塊に分けることができた。現在(二〇〇八年十一月)は内容目録の作成に移っており、F110までの整理が終了している。

表② 糸岐新宮家資料（F箱）概要目録（2007年11月調査）

史料番号	内容（年代、点数など）	史料番号	内容（年代、点数など）
F-001	未納整理帳（冊子、1点のみ）	F-031	支出簿（横帳、大正9年頃、3点）
F-002	新宮忠彦宛書簡等一括（昭和3～7年頃、約20点）	F-032	新宮清朗宛書簡一括（約5～6点、破損大）
F-003	山崎常雄・新宮清朗宛書簡一括（明治40年代、約15点）	F-033	新宮清朗宛書簡一括（約3～4点、破損大）
F-004	新宮清朗宛書簡一括（大隈重信・伊丹弥太郎書簡など、約10点）	F-034	三越呉服店よりの書簡（封筒入り、2点）
F-005	新宮家親族・家族間の書簡一括（明治40年代～大正、約120点）	F-035	入金伝票等一括（綴、破損大）
F-006	新宮清朗宛書簡等一括（大隈重信感謝状など、約40点）	F-036	新宮清朗宛書簡等一括（約50点、破損大）
F-007	古川楨次・新宮清朗宛書簡一括（大正3～5年頃、約30点）	F-037	株式申込書等一括（大正7年頃、破損大）
F-008	新聞断片（昭和12年、1点のみ）	F-038	書簡一括（破損大、開封不能か）
F-009	新宮梅子・忠彦宛書簡一括（昭和初期、約100点）	F-039	書簡一括
F-010	封書一括（分離不可、約15点）	F-040	新宮清朗宛書簡一括（約50点、破損大）
F-011	糸岐村長宛書簡・糸岐村書類等一括（破損有り、約100点）	F-041	新宮清朗宛書簡一括（約50点）
F-012	新宮清朗宛書簡一括（明治40年、約90点）	F-042	書簡一括
F-013	新宮忠彦宛書簡（昭和5～7年頃、約20点）	F-043	書簡一括（御母上様宛ほか）
F-014	新宮清朗宛書簡一括（山崎清次、米倉清族より、3点）	F-044	書簡一括（破損大）
F-015	新宮忠彦宛書簡一括（昭和5～7年頃、約20点）	F-045	株式申込書等一括（破損大）
F-016	新宮忠彦・梅子宛書簡一括（昭和初期、約30点）	F-046	書簡一括
F-017	新宮忠彦宛書類一括（多良村長関係、大正初期、約100点）	F-047	書類一括（書簡・冊子など、破損大）
F-018	新宮清朗各種経済活動関係綴（明治37～大正5年頃、約30点）	F-048	書簡一括（破損大）
F-019	新宮清朗宛総会通知等一括（明治42～大正5年頃、約100点）	F-049	金銭関係書簡一括（破損大）
F-020	書簡一括（藤山雷太より、大正期、虫損有り）	F-050	新宮清朗宛書簡一括（谷卯一郎より、破損大）
F-021	書簡一括（森田より、約10点）	F-051	新宮家関係書簡一括（日常的內容、約30点、開封不能か）
F-022	株式申込書等一括（清水理化学研究所より、約2～3点）	F-052	新宮清朗宛書簡一括（伊達伯爵家より、約30点、虫損大）
F-023	賞状等一括（中に冊子文書有り）	F-053	書簡一括（約40点、虫損により貫通部分有り、開封不能か）
F-024	入金伝票等一括（大正12年頃、約50点）	F-054	米倉家よりの書簡等一括
F-025	新宮家宛書状一括（約50点）	F-055	書簡一括（約50点、虫損により開封不能か）
F-026	書簡一括	F-056	書簡一括
F-027	書類一括（横帳など、約5～6点）	F-057	書簡一括
F-028	書類一括（漢文の祝辞など、約20点）	F-058	書簡一括
F-029	書簡一括（御見舞の書簡など、約20点）	F-059	書簡一括
F-030	出金伝票等一括（大正3年頃、約30点）	F-060	新宮清朗宛書簡・断片一括（約100点、破損により分離不能か）

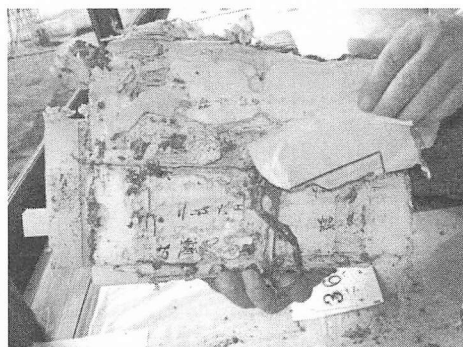
現在調査中ではあるが、F箱は私的なものから公的なものまで、実に様々な内容の書簡から構成されていることが確認できる。私的な資料としては、女性の縁談に関する書簡（0015）、旅先・出張先からの便り（0060・0269・0271）、仕送りの依頼状（0078）、学芸会の通知状（0175）や、当時の活動写真の感想を書いた書簡（0150）など、新宮家に関わる人々の生活を感じられる資料が多い。

その他、肥前板紙株式会社の株式購入依頼状や日本勧業銀行の株式総会案内状（0012・0186）など、地元の名士としての活動の様子を伺うことができる資料も存在する。

また、親戚に当る大隈重信<sup>4</sup>からの書状も三通（0046・0209・0400）含まれており、大隈と故郷佐賀との関係を知る資

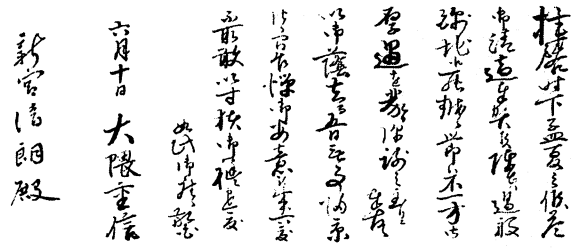


写真② F箱取り出し前の状態



写真③ 破損した資料（F-36）

料としては非常に興味深い。



写真④ 大隈重信御礼状 (F-4-10)

### 五 まとめと今後の課題

本稿では、糸岐新宮家資料の概要調査及びF箱の整理状況について述べた。来年度中にはF箱の内容目録を完成させ、資料群全体の構造分析に移りたいと考えている。

なお、糸岐新宮家資料には、管見の限りでは、発生契機の違いから、「糸岐村庄屋資料」・「地主経営資料」・「酒造業関係資料」・「新宮家私的資料」・「新宮清朗関係資料」・「書籍」・「襖資料」、などの

構造が確認できる。これらがどのような階層で成り立っているのかを解明することが今後の課題である。

### 註

- (1) 本稿のF箱以外の内容については、『糸岐新宮家資料調査概要暫定版』(佐賀県立図書館 2006年)を参考としている。
- (2) 佐賀藩では、三支藩(鹿島藩・小城藩・蓮池藩)・親類(鍋島家親類)の他に、龍造寺四家(多久家・須古鍋島家・武雄鍋島家・諫早家)からなる親類同格が存在した。諫早家は石高約二万六千石。
- (3) 大正二年～六年、同十年～十三年。二期目任期中の大正十三年に死亡している。(『佐賀県大百科事典』より)
- (4) 第八代・十七代内閣総理大臣。佐賀藩出身で早稲田大学の創設者。新宮清朗の母・君子とは従兄弟にあたる。

## 糸岐新宮家資料 (F箱) 内容目録 (2008年11月現在)

- ・本目録は糸岐新宮家資料F箱のうち、内容調査の終了した342点の資料について掲載したものである。
- ・表題、内容などの情報は、最終的に変更される可能性がある。なお、破損等の理由で解説不能の部分は■で表している。

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0001	F-001	未納整理帳	(昭和) 8年10月12日		冊子	1冊	表紙破損、米の量と姓名を記す
0002	F-002-001	[糸岐信用購買組合試算表一括]	昭和3年5月31日～ 昭和5年3月31日	有限会社糸岐信用購買組合	状	8通	
0003	F-002-002	昭和三年度事業報告書	昭和4年5月14日	小川島捕鯨株式会社専務取締役社長・飯森鶴一郎、他取締役3名	状	1通	株主総会における報告書
0004	F-002-003	[新宮ムメ生命保険満期に付き通知状]	昭和4年12月7日	福岡支部長・落合光男→保険金受取人・新宮忠彦	状	1通	「至急」の印有
0005	F-002-004	[新義真言宗豊山派総本山長谷寺化主職任命に付き書状]	昭和5年11月	新義真言宗豊山派総本山長谷寺・小林正盛→	状	1通	印刷物
0006	F-002-005	講演会開催二関スル件(神職会巡回講演講師依頼について)	昭和5年6月14日	藤津郡氏子総代会長・愛野文次郎→副会長・神宮忠彦	状	1通	
0007	F-002-006	将晋住豊山長谷寺感懐五首并引	昭和5年10月2日	小林正盛	状	1通	漢文の印刷物
0008	F-002-007	[佐嘉神社奉賛会創立会主意書承諾願状]	昭和4年4月19日	多良村長→	状	1通	多良村役場用原稿用紙を利用
0009	F-002-008	[昭和三年度小作料皆納者調及び小作料減額書付]	昭和3年		状	2通	畑田、油津、瀬戸ほか12地区の皆納者数、多良・糸岐の一般・特別減額料
0010	F-002-009-001	役員会決議事項報告ノ件	昭和4年12月24日	藤津郡氏子総代会長・愛野文次郎→各副会長	状	1通	佐賀県神職会藤津支会の原稿用紙を利用
0011	F-002-009-002	役員会開催二関スル件	昭和4年12月2日	藤津郡氏子総代会長・愛野文次郎→副会長・神宮忠彦	状	1通	佐賀県神職会藤津支会の原稿用紙を利用
0012	F-002-010	[日本勧業銀行第七十回通常株主総会開催に付き出席通知]	昭和7年7月26日	日本勧業銀行総裁・馬場鏝→株主各位	状	3通	同一文書が3通
0013	F-002-011	[書簡]	昭和2年12月10日	糸岐信用購買販売組合員・川崎熊市、岩永光平、他10名→新宮忠彦、黒田惟成、他5名	状	1通	4枚
0014	F-002-012	試算表	昭和4年11月30日	有限会社糸岐信用購買組合	状	1通	
0015	F-002-013	[書簡](すわ子様御縁談について)		祖母→[新宮] 忠彦	状	1通	2枚
0016	F-002-014	[研究会の案内状]	昭和6年2月	糸岐産業組合→	状	1通	印刷物、未発送
0017	F-002-015	[書簡]		福田九逸→新宮忠彦	状	1通	3枚、墨書
0018	F-002-016	[益富両替店寄付案内状]	(昭和) 5年6月2日	益富両替店→新宮御本家	状	1通	東邦電力などの株価記載
0019	F-002-017	[重動妻病気の為借金延引の件に付き疎信]	6月8日	重助→神宮忠彦	状	1通	2枚、破損有り
0020	F-002-018	[F-2の括り紐]			括り紐	1点	使用済文書を利用
0021	F-003-001	[多良村組合員騰定額納入告知書送付に付き書状]	明治42年4月23日	佐賀県有明海産組合組長・福地栄→多良村総代・新宮清朗	綴	1通	封筒共、破損有り
0022	F-003-002	[森田常太郎より山崎常雄宛書簡](朝鮮の貸金業について)	明治40年6月15日	森田常太郎→山崎常雄	綴	1通	封筒共
0023	F-003-003	[森田常太郎より山崎常雄宛書簡](朝鮮ヤンパン所有地開墾について)	明治40年6月16日	森田常太郎→山崎常雄	状	2通	封筒共
0024	F-003-004	[森田常太郎より山崎常雄宛書簡](ヤンパン金世基所有地の説明)	明治40年6月20日	森田常太郎→山崎常雄	状	1通	封筒共
0025	F-003-005	[青年会集会水電経過日記について相談]	明治40年旧正月16日	山崎清次→新宮清朗	状	1通	封筒共
0026	F-003-006	[梅崎繁馬書簡](所得税調査委員選挙人について)	(明治40年) 4月22日	梅崎繁馬→	状	1通	封筒共
0027	F-003-007-001	[新北久四郎書簡](会議の報告書)	明治40年3月10日	新北久四郎→新宮清朗	状	1通	封筒共
0028	F-003-007-002	[多良川水力発電利用の争議書控]	明治40年3月12日	藤津郡多良村会議員・山口巖、綿屋利市、(多良村) 村長・山口庸次郎、佐賀県知事・香川輝	状	1通	F-3-7-1に同封

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成宛先	形態	数量	備考
0029	F-003-008	[山口寿七書簡] (長崎電燈計画について)	明治40年3月14日	長崎市八城町五十二番地中川方・山口寿七→新宮清朗	状	1通	封筒共、長崎県の罫紙に5枚
0030	F-003-009	[岡多太郎書簡] (県農会役員選挙の案内)	明治44年6月4日	岡多太郎→愛野文次郎	状	1通	
0031	F-003-010-001	[古賀右平より新宮清朗宛書簡の封筒]	明治44年5月25日	古賀右平→新宮清朗	封筒	1点	F-3-10-2~5の封筒、該当書状は無し
0032	F-003-010-002	[光岡正行より石川又八宛書簡]		光岡正行→石川又八	状	1通	未送付、未開封
0033	F-003-010-003	[光岡正行より天ヶ瀬理八宛書簡]		光岡正行→天ヶ瀬理八	状	1通	未送付、未開封
0034	F-003-010-004	[光岡正行より納富教雄宛書簡]		光岡正行→納富教雄	状	1通	未送付、未開封
0035	F-003-010-005	[石井高能より新宮清朗宛書簡]	明治44年5月25日	石井高能→新宮清朗	状	1通	封筒共
0036	F-003-011	[貫次書簡] (地名・金額・人名のリスト)		■貫次→新宮清朗	状	1通	封筒共、厚紙14枚「ワロム 3円25銭」「ツタム 3円45銭」など、和紙1枚付属
0037	F-004-001	[本阿弥光遜書簡] (父孫太郎欽明死去の弔詞の御礼状)	大正3年3月	本阿弥光遜→新宮清朗	状	1通	印刷物
0038	F-004-002	[西崎書簡] (会合の誘い)	12月11日	西崎→新宮清朗	状	1通	「楊柳亭尔於而・・・」、虫損大
0039	F-004-003	[江副民也・なお書簡] (年賀の挨拶)	大正13年元旦	(江副) 民也・なち→御父上様 (新宮清朗)・御母上様	状	1通	
0040	F-004-004	[宮元書簡] (暑中見舞)	7月30日	宮元→新宮	状	1通	
0041	F-004-005	[岸本康通挨拶状]	6月30日	岸本康通→新宮清朗	状	1通	虫損有り
0042	F-004-006	[芙蓉子様結納御祝に関する書簡]	3月11日	→御叔父上様・御伯母上様	状	1通	虫損有り
0043	F-004-007	[伊丹弥太郎より貴族院議員任期満了に付き御礼状]	4月23日	伊丹弥太郎→新宮忠彦	状	1通	虫損有り
0044	F-004-008	[佐賀第六拾参号発行・送付の通知状]	明治42年	第四回佐賀県学生大会幹事・岩永新太郎、腹巻勘久、堤重雄、水町養■、深川繁治→新宮清朗	状	1通	印刷物
0045	F-004-009	[高等学校設立に付き寄付依頼状]	3月16日	→新宮清朗	状	1通	印刷物
0046	F-004-010	[大隈重信御礼状]	6月10日	大隈重信→新宮清朗	状	1通	
0047	F-005-001	[F-5の括り紐]			括り紐	1点	
0048	F-005-002	[那知より御父母様宛書簡]	9月13日	那知→御父上様・御母上様	状	1通	那知の近況報告など
0049	F-005-003	[新宮清朗より家族宛の書状カ]		[新宮清朗→家族]	状	1通	後欠、三越洋服回送・母上容体・那知子の宿題・庭の手入れなどについて
0050	F-005-004	[着物の仕立て案内状]	3月16日	山さ→美起子・む免	状	1通	
0051	F-005-005	[相太郎仕事の件に付き伺状]	旧3月22日	今泉家→新宮美喜	状	1通	
0052	F-005-006	[関東大震災追慎会案内状]		善行寺→新宮様	状	1通	
0053	F-005-007	[中野萬亀書状]	1月31日	中野萬亀→新宮御姉上様	状	1通	
0054	F-005-008	[むめ子より御両親様宛書簡]		むめ子→御両親様	状	1通	瓜を送る
0055	F-005-009	[恒朔より新宮清蔵・清朗宛書簡] (洪水被害の援助について)	7月27日	恒朔→新宮清蔵・清朗	状	1通	7月17日文子女児出産の知らせ有り
0056	F-005-010	[見舞状]		→御両親様	状	1通	
0057	F-005-011	[新年の挨拶状]	大正9年1月3日	→ふよう (芙蓉)	状	1通	
0058	F-005-012	[志保子よりふやう子様への書状] (写真・手紙のお礼)		志保子→ふやう子 (芙蓉)	状	1通	
0059	F-005-013	[見舞状]	8月17日		状	1通	
0060	F-005-014	[箱崎から新橋までの旅日記]			状	1通	
0061	F-005-015	[布団・墓地・おむつに対する御礼状]		(静子の母)→御母様	状	1通	
0062	F-005-016	[発送通知状]	11月19日	伊勢半呉服店→新宮様	状	1通	

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数冊	備考
0063	F-005-017	[御礼状]			状	1通	見発送または様式か
0064	F-005-018	[御礼状]	10月6日	はじめ→新宮御母様	状	1通	
0065	F-005-019	[御梅状] (亡八重子様をいたむ)	12月6日	志保子→ふやう子(芙蓉)	状	1通	
0066	F-005-020	[清朗から御姉様宛の手紙]	8月27日	清朗→御姉様	状	1通	
0067	F-005-021	[書簡] (審験症につき手術の件)			状	1通	後欠
0068	F-005-022	[すみより清朗・梅子・なち・満起宛書簡]	7月27日	すみ→(新宮)清朗、梅子、なち、満越	状	1通	端に計算のメモ書有り
0069	F-005-023	[新宮忠彦病氣回復に付書簡]			状	1通	
0070	F-005-024	[さたより新宮おみき宛御礼状]	11月16日	さた→新宮おみき	状	1通	
0071	F-005-025	[芳より新宮清朗・梅子宛書簡] (リュウマチの病に付き)	6月19日	芳→(新宮)清朗・梅子	状	1通	
0072	F-005-026	[書簡] (那知子の様子について)	大正元年9月9日	■■→御祖母様・母上様	状	1通	
0073	F-005-027	[鎌子十七回忌に付玉城孝次よりの書簡]	大正2年6月11日	玉城孝次→神宮御大兄	状	1通	
0074	F-005-028	[梅千代より神宮梅子宛御礼状]	4月28日	梅千代→新宮梅子	状	1通	
0075	F-005-029	[新宮家宛御礼状]		→(新宮祖父母様)	状	1通	後欠
0076	F-005-030	[家購入についての相談状]	4日夜	→(お姉様方)	状	1通	後欠、東京と横浜の中間、野村様設計
0077	F-005-031	[兄様母上様宛書状]		→(兄様・母上様)	状	1通	後欠
0078	F-005-032	[正樹へ仕送り依頼状]			状	1通	後欠
0079	F-005-033	報知状(為替・着荷の件)	5月23日	ハマ■店→新宮殿	状	1通	
0080	F-005-034	[書状] (家庭の事について近況報告)			状	1通	後欠
0081	F-005-035	[あさ代より梅子様宛書状] (保険金支払の相談)	5月16日	あさ代→梅子	状	1通	
0082	F-005-036	[憲政会九州大会の知らせ] (接待役二名選出の件)		愛野文次郎→新宮清朗	状	1通	
0083	F-005-037	[御礼状] (多良滞在と写真の御礼)	3月26日	木下嘉助→新宮清朗	状	1通	
0084	F-005-038	[ふよりより御母様宛書簡] (忠彦の写真送付の連絡)	4月31日	ふよう→御母上様	状	1通	
0085	F-005-039	[なすび苗・はやとうり所望の手紙]			状	1通	
0086	F-005-040	[御礼状]	4月26日	春子→梅子様	状	1通	
0087	F-005-041	[婚約披露宴の招待状] (山口庸次郎息子と坂本源治末娘の婚約)	大正14年4月28日	山口庸次郎→新宮忠彦	状	1通	
0088	F-005-042	[書簡] (腸チブスの診断について)			状	1通	後欠
0089	F-005-043	[梅子宛書簡]	9月7日	→梅子	状	1通	虫損有り
0090	F-005-044	[なをより叔母・忠彦宛書簡]	27日	なを→御叔母上様・忠彦様	状	1通	虫損有り
0091	F-005-045	[近況報告の書簡]			状	1通	後欠
0092	F-005-046	[忠彦病氣についての書簡]			状	1通	
0093	F-005-047	[上京日についての書簡]			状	1通	
0094	F-005-048	[ゆうよりおむめ宛書簡]	4月11日	ゆう→おむめ	状	1通	
0095	F-005-049	[清孝・忠彦宛書簡]	4月2日	次八→新宮様	状	1通	
0096	F-005-050	[肺の病氣について書簡]	3月		状	1通	虫損有り
0097	F-005-051	[羽織代金についての礼状]			状	1通	後欠
0098	F-005-052	[立花令就より新宮家宛書簡]	4月5日	立花令就→新宮様	状	1通	
0099	F-005-053	[峰より新宮家宛書簡]	4月9日	峰■次→新宮様	状	1通	
0100	F-005-054	[近況報告の書簡]			状	1通	後欠
0101	F-005-055	[ノムラヤエコより新宮一家宛書状]		ノムラヤエコ→シングウオバチャマ、他	状	1通	カタナカ書、手紙の練習か
0102	F-005-056	[中野御祖母様死去につき書簡]			状	1通	後欠
0103	F-005-057	[すみより清朗・梅子宛書簡]	5月7日	すみ→清朗・梅子	状	1通	

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0104	F-005-058	[大学卒業試験廃止・大正大博覧会の開催等についての書簡]			状	1通	後欠、
0105	F-005-059	[御尊母様初盆祭につき書簡]	8月11日	光岡正義→新宮清朗	状	1通	
0106	F-005-060	[県会議員候補者決定及び選挙区域割協議につき来会願状]	3月5日	井原喜代太郎→新宮清朗・古川禎次	状	1通	
0107	F-005-061	[田村甲一より新宮家宛書簡]	大正6年7月14日	田村甲一→新宮様	状	1通	
0108	F-005-062	[あさ越より梅子宛書簡]	8月12日	あさ越→梅子	状	1通	
0109	F-005-063	[大隈侯来県につき着物取り計らいの件書簡]			状	1通	後欠
0110	F-005-064	[野村孝次郎より新宮大叔父宛書簡]			状	1通	
0111	F-005-065	[東福寺先住職四十九日法事執行につき参詣願]	(明治) 44年12月20日	野村孝次郎→新宮大叔父	状	1通	
0112	F-005-066	[病気の件につき書簡]	9月8日	東福寺→新宮様	状	1通	
0113	F-005-067	[房千代より祖母・父母宛書簡]	11月11日	房千代→御祖母様・御父母様	状	1通	洋風柄の紙を使用
0114	F-005-068	[すみより美喜・む免宛書簡]	1月11日	すみ→美喜・む免	状	1通	虫損甚大
0115	F-005-069	[那知より祖母・父母宛書簡]	9月17日	那知→御祖母様・御父様・御母様	状	1通	
0116	F-005-070	[野村ふきより新宮宛書簡]	12月20日	野村ふき→新宮様	状	1通	虫損甚大
0117	F-005-071	[すみより御母上・清朗宛書簡]	12月4日	すみ→御母上、清朗	状	1通	墨書
0118	F-005-072	[すみより梅子宛書簡]	8月31日	すみ→梅子	状	1通	墨書
0119	F-005-073	[房子より御祖母上宛書簡]	7月4日	房子→御祖母、他	状	1通	墨書
0120	F-005-074	[梅子宛書簡]		→梅子	状	1通	墨書
0121	F-005-075	[着物についての書簡]			状	1通	墨書、後欠
0122	F-005-076	[せいより梅宛書簡]	1月16日	せい→梅子	状	1通	墨書
0123	F-005-077	[井手より新宮御奥様宛書簡]		井手広→新宮御奥様	状	1通	墨書
0124	F-005-078	[土地売買の事につき書簡]			状	1通	墨書、後欠
0125	F-005-079	[服のことにつき書簡]		→すわ	状	1通	墨書、後欠
0126	F-005-080	[野村孝次郎より新宮御叔母上・新宮忠彦宛書簡]	大正13年11月5日	野村孝次郎→新宮御母上、新宮忠彦	状	1通	墨書、封筒なし
0127	F-005-081	[井上源太郎礼状]	8月20日	井上源太郎→新宮梅子	状	1通	墨書、封筒なし
0128	F-005-082	[盆礼の品送付につき書簡]	8月8日	ひで→梅子	状	1通	墨書、封筒なし
0129	F-005-083	[すみ書簡]	9月8日	すみ→於みき、於むめ	状	1通	墨書、封筒なし
0130	F-005-084	[すみ書簡] (母上退院につき)	12月16日	すみ→清朗	状	1通	墨書、封筒なし
0131	F-005-085	[那知書簡]	10月7日	那知→御祖母様、御母様	状	1通	墨書、封筒なし
0132	F-005-086	[母の病気につき書簡]			状	1通	墨書、封筒なし、後欠
0133	F-005-087	[古川禎次書簡]	21日	(古川) 禎次→新宮様	状	1通	墨書、封筒なし
0134	F-005-088	[星野愼書簡]	14日	(星野) 愼→母上様	状	1通	墨書、封筒なし
0135	F-005-089	[すみ書簡]	12月18日	すみ→清朗	状	1通	墨書、封筒なし
0136	F-005-090	[文官試験の事につき書簡]		→御叔母様	状	1通	墨書、封筒なし
0137	F-005-091	[母上への御見舞品につき書簡]			状	1通	墨書、封筒なし
0138	F-005-092	[挨拶状]		→ふよう様	状	1通	墨書、封筒なし
0139	F-005-093	[喜代子書簡]		→姉様	状	1通	墨書、封筒なし
0140	F-005-094	[ます子書簡]		ます子→ふよう様	状	1通	墨書、封筒なし
0141	F-005-095	[挨拶状]		妹→姉様	状	1通	墨書、封筒なし
0142	F-005-096	[挨拶状] (東京で流行の感冒について)			状	1通	墨書、封筒なし、白紙1枚付属
0143	F-005-097	[万寿子書簡]		万寿子→ふよう	状	1通	墨書、封筒なし
0144	F-005-098	[万寿子書簡]		万寿子→ふよう	状	1通	墨書、封筒なし
0145	F-005-099	[万寿子書簡]	11日	万寿子→ふよう	状	1通	墨書、封筒なし



通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0146	F-005-100	[万寿子書簡]	9日	万寿子→ふよう	状	1通	墨書、封筒なし
0147	F-005-101	[柳太郎よりふよ子宛書簡]	10月13日	■柳太郎、万寿代→ふよ子	状	1通	虫損甚大
0148	F-005-102	[万寿代よりふよ子宛書簡]	4日	万寿子→ふよ子	状	1通	
0149	F-005-103	[万寿代よりふよ子宛書簡]	22日	万寿子→ふよ子	状	1通	前欠
0150	F-005-104	[里見八犬伝の活動写真のことなどについて書簡]			状	1通	前後欠
0151	F-005-105	[糸岐の芝居、喜劇の事につき書簡]			状	1通	後欠
0152	F-005-106	[書簡]		■子→姉上様	状	1通	虫損有り、枝付の紙を使用
0153	F-005-107	[嫁入の件につき書簡]			状	1通	後欠、虫損有り
0154	F-005-108	[御礼状]			状	1通	後欠
0155	F-005-109	[ふよう宛書簡]		→ふよう子様	状	1通	
0156	F-005-110	[妹より姉宛、大阪よりの書簡]		妹→姉上様	状	1通	チヨウの柄有り、虫損有り
0157	F-005-111	[書簡] (父母の心配)			状	1通	前後欠
0158	F-005-112	[書簡] (御姉上様の件)			状	1通	後欠
0159	F-005-113	[ふよう様宛書簡]	9日	→ふよう	状	1通	虫損大
0160	F-005-114	[さ越子宛書簡]		→さ越子	状	1通	後欠
0161	F-005-115	[新春の御祝状]	1月10日	→ふよう	状	1通	
0162	F-005-116	[志をよりふやう子宛書簡]	12月19日	志を→ふやう子	状	1通	虫損
0163	F-005-117	[柴子よりふよ子宛書簡]	1月6日	柴子→ふよ子	状	1通	
0164	F-005-118	[書簡] (手紙の返事)	3月3日		状	1通	後欠、虫損
0165	F-005-119	[万寿子よりふよ子宛書簡]	25日	万寿子→ふよ子	状	1通	虫損有り
0166	F-005-120	[ふよう子宛書簡]	30日	→ふよう	状	1通	虫損有り
0167	F-005-121	[書簡] (家族に関する内容)			状	1通	虫損甚大、前後欠
0168	F-005-122	[断簡] (万寿子よりふよ子様宛など)			状	1通	虫損甚大
0169	F-006-001-001	[井原喜代太郎書簡]	[明治] 40年2月10日	井原喜代太郎→新宮清朗	状	1通	封筒共
0170	F-006-001-002	[田原小三郎書簡] (中野御老人死去の弔詞)	[明治] 40年1月21日	田原小三郎→新宮清朗	状	1通	封筒共
0171	F-006-001-003	[酒見書簡] (人員増加の願)	2月6日	鹿島行城酒見→	状	1通	封筒共
0172	F-006-001-004	[森田常太郎より馬車挽き雇用の願]	30日	(森田) 常太郎 (森田半助本店) →新宮清朗	状	1通	封筒共
0173	F-006-001-005	[伊東嘉太郎より入院見舞状]	8月2日	鹿島・伊東嘉太郎→多良村糸岐・新宮清朗	状	1通	封筒共
0174	F-006-001-006	[高橋宇一書簡] (送金の御礼及び高額納税者名記入の御願い)	[明治] 42年5月9日	備前国尾道市久保町郷学堂・高橋宇一→新宮清朗	状	1通	封筒共
0175	F-006-001-007	[学芸会のお知らせ]	5月25日	多良尋常高等小学校→新宮清朗	状	1通	封筒共
0176	F-006-001-008	[玉城考次書簡] (十三回忌の御礼)	[明治] 42年6月1日	仙台市東三番丁・玉城孝次→新宮清朗	状	1通	封筒共
0177	F-006-001-009	[大浦書簡]	5月12日	大浦■→新宮様	状	1通	封筒共
0178	F-006-001-010	[中島書簡] (御礼状)	22日	中島吾■→新宮清朗	状	1通	封筒共
0179	F-006-001-011	[向栄館方中村其他書簡]		向栄館方中村其他→中野権久	状	1通	封筒共、未開封
0180	F-006-001-012	[小林元太郎書簡] (獵犬の値段について)	[明治] 39年4月26日	小林元太郎→新北久四郎	状	1通	封筒共
0181	F-006-001-013	[有田義資書簡] (亡母の一周忌の知らせ)	[明治] 41年2月13日	有田義資 (佐賀水ヶ江) →新宮清朗	状	1通	封筒共
0182	F-006-001-014	[立岡正義書簡] (御礼状)	[明治] 41年2月15日	立岡正義 (小城郡三日月村) →新宮清朗	状	1通	封筒共
0183	F-006-001-015	[北島英夫書簡] (新宮家滞在の御礼状)	[明治] 41年1月27日	北島英夫 (長崎市本古川町) →新宮清朗	状	1通	封筒共
0184	F-006-001-016	[久布書簡] (狩猟の誘い状)	[明治] 41年2月6日	久布■ (於高津原) →新宮清朗	状	1通	封筒共
0185	F-006-001-017-001	[伊東嘉太郎書簡の封筒]	大正5年9月18日	伊東嘉太郎→新宮清朗	封筒	1点	F-6-1-17-1~4まで封筒一括

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0186	F-006-001-017-002	[伊東嘉太郎書簡] (肥前板紙株式会社株式購入のお願い)	9月18日	[伊東嘉太郎] → [新宮清朗]	状	1通	F-6-1-17-1~4まで封筒一括、墨書
0187	F-006-001-017-003	[肥前板紙株式会社株式創立に関する説明書]			状	1通	F-6-1-17-1~4まで封筒一括、印刷
0188	F-006-001-017-004	[株式申込書]			状	1通	F-6-1-17-1~4まで封筒一括、メモ紙付属
0189	F-006-001-018	[前田政八書簡]	大正5年9月18日	前田政八→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷
0190	F-006-001-019	[光岡正行書簡] (就職幹旋のお願い)	大正5年11月22日	光岡正行→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷
0191	F-006-001-020	[江副直樹書簡] (縣道復旧工事と村役場新築落成の祝辞)	大正5年11月2日	大浦村長・江副直樹→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0192	F-006-001-021	[山口茂樹書簡]	大正5年11月2日	神戸市熊内・山口茂樹→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0193	F-006-001-022	[下河辺里吉書簡]	11月6日	下河部里吉→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0194	F-006-001-023	[伊東嘉太郎書簡]	大正3年4月29日	鹿島銀行・伊東嘉太郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、ペン書
0195	F-006-001-024	[綿屋利市書簡] (為替引換の連絡)	大正3年5月12日	多良信用購買販売組合・綿屋利一→新宮清朗	状	1通	封筒共、罫紙、墨書
0196	F-006-001-025	[池田令次郎書簡] (評議員会開催につき)	大正5年9月25日	平野中畑耕地整理組合副嬢・池田令次郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、罫紙、ペン書、角印有り
0197	F-006-001-026	[池田令次郎書簡] (組合員総集會開催の連絡)	大正5年7月31日	池田令次郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、罫紙、ペン書
0198	F-006-001-027	[山崎常雄書簡] (狩猟の件)	明治40年11月17日	韓国京城明治町二丁目森田支店・山崎常雄→新宮清朗・古川禎次	状	1通	封筒共、罫紙、ペン書
0199	F-006-001-028-001	[伝次郎書簡の封筒]		■部伝次郎→新宮清朗	封筒	1点	F-6-1-28-1~3まで封筒一括
0200	F-006-001-028-002	[伝次郎書簡]	10月29日	■部(伝次郎)→新宮様	状	1通	F-6-1-28-1~3まで封筒一括
0201	F-006-001-028-003	受取証	[明治] 40年10月18日	杉原新作→新宮清朗	状	1通	F-6-1-28-1~3まで封筒一括
0202	F-006-001-029	[栗本義乗書簡]	[明治] 40年6月7日	藤津郡長・栗本義乗→新宮清朗	状	1通	
0203	F-006-001-030-001	[原田源兵衛書簡の封筒]	5月26日	原田源兵衛→新宮みき	封筒	1点	F-6-1-30-1~3まで封筒一括
0204	F-006-001-030-002	[原田源兵衛書簡]	5月26日	原田源兵衛→新宮殿	状	1通	F-6-1-30-1~3まで封筒一括
0205	F-006-001-030-003	受取証	5月26日	原田源兵衛→新宮殿	状	1通	F-6-1-30-1~3まで封筒一括
0206	F-006-001-031	[嬉野雷太郎書簡] (香典返し of 進物の副状)	明治40年5月8日	嬉野雷太郎→新宮清朗	状	1通	
0207	F-006-001-032	[石井興民書簡]	明治40年7月31日	石井興民→新宮清朗	状	1通	
0208	F-006-001-033	[F-6 of 断片一括]			断片	数点	
0209	F-006-002	[大隈重信感謝状]	大正5年5月15日	大日本文明教会会長伯爵・大隈重信→新宮清朗	状	1通	
0210	F-007-001	[F-7 of 括り紐]			括り紐	1通	赤い括り紐
0211	F-007-002	[江頭共一書簡]	大正5年4月10日	京城府明治町壹丁目京城共同社・江頭共一→多良村大字米岐・古川禎次	状	1通	封筒共、墨書
0212	F-007-003	[山口庸次郎書簡]	大正5年4月13日	山口庸次郎→新宮忠彦	状	1通	封筒共、墨書
0213	F-007-004	[江頭共一書簡] (慰労金の御礼状)	大正5年12月23日	京城府明治町壹丁目京城共同社・江頭共一→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0214	F-007-005	[佐賀県農會の書簡]	大正5年12月11日	佐賀県農會→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷
0215	F-007-006	[井手■次書簡]	大正5年8月17日	嬉野村井手■次→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0216	F-007-007	[市嶋謙吉書簡]	大正5年8月8日	大日本文明協會理事長・市嶋謙吉→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷
0217	F-007-008	[祐徳軌道株式の名義書換の件書状]	大正5年3月20日	鹿島銀行→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷
0218	F-007-009	[入金依頼状]	大正5年4月8日	古賀銀行→新宮清朗	状	1通	封筒共、罫紙
0219	F-007-010	[桜菊會式典の連絡状]	大正5年4月24日	桜菊會本部→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0220	F-007-011	[木下義猶書簡](卒業記念書籍のお礼)	大正5年6月14日	糸岐板之坂・木下義猶→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0221	F-007-012	[飯盛鶴一郎書簡]	大正5年5月14日	飯盛鶴一郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0222	F-007-013	[江頭共一書簡]	大正5年6月5日	京城府明治町壹丁目京城共同社・江頭共一→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0223	F-007-014	[古川喜代助書簡](送金の依頼)	大正5年5月7日	古川喜代助→新宮清朗	状	1通	封筒共
0224	F-007-015	[中村寛治書簡](病気快復の知らせ)	大正5年5月7日	七瀬村・中村寛治→新宮清朗	状	1通	封筒共
0225	F-007-016	[江口六郎書簡]	大正3年12月7日	江口六郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、戦場よりの便りか
0226	F-007-017	[鐘ヶ江書簡]	大正3年12月28日	鐘ヶ江持■→新宮清朗	状	1通	封筒共
0227	F-007-018	[飯盛鶴一郎書簡](捕鯨税減額のお礼)	大正3年12月21日	飯盛鶴一郎→新宮清朗	状	1通	封筒共
0228	F-007-019	[北島書簡]	大正3年12月21日	北島英■→新宮清朗	状	1通	封筒共
0229	F-007-020	[米松まつ書簡]	大正4年1月20日	東松浦郡唐津町・永松まつ→新宮清朗	状	1通	封筒共
0230	F-007-021	[高見安次書簡](礼状)	大正4年1月13日	島原水電株式会社技師長・高見安次→新宮清朗	状	1通	封筒共
0231	F-007-022	[藤川卯吉朗書簡]	大正4年1月26日	藤川卯吉郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、破損有り
0232	F-007-023	[古川平四郎書簡]	大正4年10月27日	撫順炭坑事務所庶務課・古川平四郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、ペン書き
0233	F-007-024	[下濱孝一郎書簡]	9月8日	下濱孝一郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、破損有り
0234	F-007-025	[古川平四郎書簡](大連到着につき)	大正4年9月2日	大連市霧島町・古川平四郎→新宮清朗	状	1通	封筒共
0235	F-007-026	[川津福太郎書簡]	大正4年9月10日	川津福太郎→新宮清朗	状	1通	封筒共
0236	F-007-027	[毛利新一書簡]	大正4年9月10日	毛利新一→新宮清朗	状	1通	封筒共、破損有り
0237	F-007-028	[昌太郎書簡]	大正4年8月9日	佐賀県西松浦郡曲川金鉱事務所→新宮清朗	状	1通	開封不能、封筒共
0238	F-007-029	[宮崎巳之太郎書簡]	[大正4年] 10月25日	宮崎巳之太郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0239	F-007-030	[土橋徳宗書簡]	8月4日	諫早古町・土橋徳宗→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0240	F-007-031	[腸良為古次書簡]	6月12日	長崎本町灰町江上方→新宮清朗	状	1通	封筒共、墨書
0241	F-007-032	[役場参会の通知]	大正4年5月28日	大浦村長・池田令次郎→新宮清朗	状	1通	封筒共、印刷
0242	F-007-033	[多良村役場より届書]	大正4年6月7日	多良村役場→新宮清朗	状	4点	墨書
0243	F-008	[新聞断片「満州国の金融機構」]	昭和12年6月20日		断片	1点	
0244	F-009-001	[新宮清朗宛書簡]	大正4年12月21日	→新宮清朗	状	1通	破損の為開封不能、封筒共
0245	F-009-002	[米倉経大書簡]	明治19年1月	肥筑日報創立事務所→新宮(清朗)	状	3通	封筒共、破損大
0246	F-009-003	[断片]			断片	1通	
0247	F-009-004	[雄二郎礼状]	9月22日		状	1通	
0248	F-009-005	[須和子宛書簡]		→須和子	状	1通	4枚
0249	F-009-006	[叔母より忠彦宛書簡]		叔母→忠彦	状	1通	
0250	F-009-007	[書簡]	6月19日		状	1通	前欠
0251	F-009-008	[芳書簡](病気回復につき)		芳→奥様	状	1通	前欠
0252	F-009-009	[春子書簡]	6月29日	春子→梅子・忠彦・須和子	状	1通	前欠
0253	F-009-010	[三芳書簡]		三芳→新宮奥様	状	1通	前欠
0254	F-009-011	[持永儀四郎書簡](火事見舞の礼状)	7月4日	持永儀四郎→新宮様	状	1通	前欠
0255	F-009-012	[男子出産につき書簡]	23日	正■→忠彦	状	1通	前欠
0256	F-009-013	[梅千代書簡]	6月14日	→新宮梅子	状	1通	前欠
0257	F-009-014	[姉より梅子宛書簡]		[姉]→梅子	状	1通	前欠
0258	F-009-015	[姉より梅子宛書簡]		[姉]→梅子	状	1通	前欠
0259	F-009-016	[相浦書簡]	25日	相浦→新宮様	状	1通	前欠

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0260	F-009-017	[なを書簡]	6月14日	なを→新宮様	状	1通	前後欠、虫損有り
0261	F-009-018	[三芳・芳助書簡]		三芳・芳助→新宮梅子	状	1通	前欠
0262	F-009-019	[栗本晃書簡]	7日	栗本晃→新宮忠彦	状	1通	糊はがれ有り
0263	F-009-020	[佐賀県係より女子春午国幹部宛書簡]			状	1通	前欠
0264	F-009-021	[叔母より忠彦宛書簡]			状	1通	虫損有り
0265	F-009-022	[山上書簡] (暴風雨の被害について)	24日	山上→新宮様	状	1通	
0266	F-009-023	[杉森書簡]	11月23日	[杉森] →新宮忠彦	状	1通	前欠・虫損有り
0267	F-009-024	[健吉書簡]	11月20日	健吉→忠彦	状	1通	
0268	F-009-025	[黒田荘蔵書簡]		(黒田) 荘蔵→	状	1通	前欠・虫損有り
0269	F-009-026	[垂米利加からの草花種子についての書簡]	5月12日	黒田惟誠→新宮様	状	1通	虫損有り
0270	F-009-027	[御母上様宛書簡] (須和からきいた話について)	19日	子→母上様	状	1通	虫損有り
0271	F-009-028	[旅行日程についての書簡]	5月27日	[黒田] 惟誠→新宮様	状	1通	前欠・虫損有り
0272	F-009-029	[八重子の件お礼状]	8月15日		状	1通	後欠・虫損有り
0273	F-009-030	[すわ子書簡] (叔母の病状について)		叔母→すわ子	状	1通	虫損有り
0274	F-009-031	[年賀状]	正月元旦	北原研究所・小原秀子→	状	1通	虫損有り
0275	F-009-032	[姉より忠彦・梅子宛書簡]		姉→梅子・忠彦	状	1通	虫損有り
0276	F-009-033	[お手紙の礼状]			状	1通	虫損有り、後欠
0277	F-009-034	[野村なを書簡]	8月5日	野村なを→新宮御叔母上様・忠彦	状	1通	虫損有り
0278	F-009-035	[叔母より忠彦宛書簡]		叔母→忠彦	状	1通	虫損有り
0279	F-009-036	[叔母より忠彦宛書簡] (女学校の運動会について)		叔母→忠彦	状	1通	虫損有り
0280	F-009-037	[忠彦宛書簡]		→忠彦様	状	1通	前後欠・虫損有り
0281	F-009-038	[山下より新宮宛書簡]	8月12日	山下→新宮	状	1通	虫損有り
0282	F-009-039	[中川舜一郎書簡]	8月25日	中川舜一郎・実→新宮梅	状	1通	虫損有り
0283	F-009-040	[叔母より忠彦宛書簡]		叔母→忠彦	状	1通	虫損有り
0284	F-009-041	[姉より梅子宛書簡]		姉→梅子	状	1通	虫損有り
0285	F-009-042	[義男より御母上様宛書簡]	1月6日	義男→御母〔上様〕	状	1通	虫損有り
0286	F-009-043	[祐徳稻荷神社所より新宮忠彦宛書簡] (寄付御礼につき)	12月25日	祐徳稻荷神社所→新宮忠彦	状	1通	虫損有り、前欠
0287	F-009-044	[叔母よりすわ子宛書簡]		叔母→すわ子様	状	1通	虫損有り
0288	F-009-045	[雷太郎より梅子宛書簡]	12月17日	雷太郎→梅子様	状	1通	虫損有り
0289	F-009-046	[尾也より御母上・忠彦宛書簡] (暴風雨のため停電につき)	14日	尾也→御母上・忠彦	状	1通	虫損有り
0290	F-009-047	[江島信一御礼状]	9月23日	江島信一→新宮様	状	1通	虫損有り
0291	F-009-048	[染川けさ子書簡] (暴風雨被害について)	9月14日	染川けさ子→新宮梅子	状	1通	虫損有り、前欠
0292	F-009-049	[鶴より梅子・忠彦宛書簡]		鶴→梅子	状	1通	虫損有り
0293	F-009-050	[姉より忠彦様・梅子様宛書簡]		姉→忠彦・梅子	状	1通	虫損有り
0294	F-009-051	[勝より新宮梅子宛書簡]	10月19日	勝→新宮梅子	状	1通	虫損有り
0295	F-009-052	[森田判助書簡]		森田判助→新宮忠彦	状	1通	虫損有り
0296	F-009-053	[森田判助書簡] (香典返しにつき)	10月12日	森田判助→新宮様	状	1通	虫損有り
0297	F-009-054	[叔母より忠彦宛書簡]		叔母→忠彦様	状	1通	虫損有り
0298	F-009-055	[森田判助書簡]	10月23日	森田判助→新宮様	状	1通	虫損有り、印刷
0299	F-009-056	[姉より梅子宛書簡]		姉→梅子様	状	1通	虫損有り
0300	F-009-057	[新宮忠彦宛書簡]	10月29日	■■直→新宮忠彦	状	1通	虫損有り
0301	F-009-058	[冷風白蒼瑞雲妙光大姉一周忌につき書簡]	9月8日	森田判助→新宮忠彦	状	1通	虫損有り

通番	史料番号	表題(内容)	年代	作成→宛先	形態	数量	備考
0302	F-009-059	[姉より梅子宛書簡]		姉→梅子	状	1通	虫損有り
0303	F-009-060	[江頭共一より新宮宛書簡](養母死去香料の礼状)	30日	江頭共一→新宮御大人	状	1通	虫損有り
0304	F-009-061	[須和より御母上御兄上宛書簡]	16日	須和→御母上様・御兄上様	状	1通	虫損有り
0305	F-009-062	[須和子より御兄上様宛書簡](見舞い礼状)	10月7日	須和子→御兄上様	状	1通	虫損有り
0306	F-009-063	[野村なを書簡]		野村なを→新宮御叔母上・忠彦	状	1通	虫損有り
0307	F-009-064	[姉より梅子宛書簡]		姉→梅子	状	1通	虫損有り
0308	F-009-065	[叔母より忠彦宛書簡]		叔母→忠彦	状	1通	虫損有り
0309	F-009-066	[南正樹書簡]		南正樹→忠彦	状	1通	虫損有り
0310	F-009-067	[祐徳稻荷神社より新宮忠彦宛書簡]	11月9日	祐徳稻荷神社会所→新宮忠彦	状	1通	虫損有り
0311	F-009-068	[林四郎より新宮忠彦宛御礼状]	4月20日	林四郎→新宮忠彦	状	1通	前欠
0312	F-009-069	[萩原官六御礼状]		萩原官六→新宮様	状	1通	虫損有り
0313	F-009-070	[東京米倉家よりの書簡](須和の様子について)			状	1通	虫損有り、前後欠
0314	F-009-071	[須和上京の件につき書簡]			状	1通	虫損有り
0315	F-009-072	[姉より梅子宛書簡](病状の連絡)		姉→梅子	状	1通	虫損有り、前欠
0316	F-009-073	[雷太郎より御姉上様宛書簡]		雷次郎→御姉上様	状	1通	虫損有り、前欠
0317	F-009-074	[新庄祐治郎書簡](寄付金のお願ひ)	昭和3年	江頭共一→新宮忠彦	状	1通	虫損有り、前欠
0318	F-009-075	[江頭共一御礼状]	7月5日	江頭共一→新宮忠彦	状	1通	虫損有り、前欠
0319	F-009-076	[書簡]		(姉)→(梅子)	状	1通	虫損有り、前後欠
0320	F-009-077	[姉より梅子宛書簡]		姉→梅子	状	1通	虫損有り、前欠
0321	F-009-078	[姉より梅子宛書簡](やすへの件)		姉→梅子	状	1通	虫損有り、前後欠
0322	F-009-079	[書簡](母上様の件)			状	1通	虫損有り、前後欠
0323	F-009-080	[重助より御旦那様・御奥様宛御礼状]	8月	重助→御旦那様、御奥様	状	1通	虫損有り
0324	F-009-081	[書簡](孝次郎・八重の上京)	11月14日		状	1通	虫損有り、前後欠
0325	F-009-082	[野村なを書簡](送金の御礼につき)	12月6日	野村なを→新宮叔母様・忠彦様	状	1通	虫損有り、前欠
0326	F-009-083	[山口席次郎書簡](亡クマ七十七日法会の案内)	12月11日	山口席次郎→新宮忠彦	状	1通	虫損有り
0327	F-009-084	[秀次年賀状]	昭和3年	→新宮梅子	状	1通	虫損有り、前欠
0328	F-009-085	[那智書簡](須和の臍談について)	12月29日	那智→御母上様	状	1通	虫損有り、前欠
0329	F-009-086	[書簡](成城学園近くでの生活につき三案)			状	1通	後欠、虫損大
0330	F-009-087	[叔母よりすわ子宛書]		叔母→すわ子	状	1通	虫損大
0331	F-009-088	[亡母三回忌につき参詣願]	5日		状	1通	虫損大
0332	F-009-089	[熊谷亀一より新宮賢堂宛書簡]	3月4日	熊谷亀一→新宮賢堂	状	1通	虫損大
0333	F-009-090	[永田一二より新宮忠彦宛書簡]	3月17日	永田一二→新宮忠彦	状	1通	虫損大
0334	F-009-091	[叔母より忠彦宛書簡]		叔母→新宮忠彦	状	1通	虫損大
0335	F-009-092	[叔母より忠彦宛書簡](牛肉屋のこと)		叔母→新宮忠彦	状	1通	虫損大
0336	F-009-093	[叔母より忠彦宛書簡](神経痛のこと)		叔母→新宮忠彦	状	1通	虫損大
0337	F-009-094	[叔母より忠彦宛書簡](給金前払いの件につき)		叔母→新宮忠彦	状	1通	虫損大
0338	F-009-095	[清彦の件につき書簡]		→御母上様ほか	状	1通	虫損大
0339	F-009-096	[御供養御案内につき礼状]		多々良晩■→新宮忠彦	状	1通	虫損大
0340	F-009-097	[山下より新宮宛書簡]	2月27日	山下→新宮様	状	1通	前欠、虫損大、断片有り
0341	F-009-098	[断片]			断片	数点	
0342	F-010	[封書一括]	大正4年他		状	約13点	虫損などにより分離開封不能